

令和8年度以降の宗像市総合防災訓練について

宗像市総合防災訓練は平成24年に第1回を開催し、以降令和6年までは各地区コミュニティ運営協議会にて輪番でメイン会場を設け、訓練を実施してきました。令和6年度をもって市内の12コミュニティ全てのメイン会場としての訓練が完了したため、令和7年度はメイン会場を設けず、各地区で行われている訓練内容や特徴、課題等について把握することを目的として危機管理課の各職員がそれぞれコミュニティ及び学校等の各会場での訓練に参加しました。

上記の経緯を踏まえ、令和8年度以降の総合防災訓練は、下記のとおり実施したいと考えています。

メイン会場は「中学校体育館」とします。

(理由①)

令和6年度に全ての小中学校の体育館に空調設備が整備されました。

また、中学校の体育館には電気だけでなくガスによる発電装置も設置され、大規模災害により停電が起きた場合に、発災直後の避難者受入の拠点となる可能性を秘めています。地域住民が中学校に避難した場合に避難所の設備を速やかに活用できるよう、訓練を実施する必要があると考えました。

(理由②)

大規模災害、特に地震はいつ起きるかわかりません。平日の日中に発生する可能性もあります。そうした時に身の安全を守るため、正しい防災知識を身に付けておく必要があります。

また、日中に発生した場合は、避難所の初動対応等に中学生にもボランティアとして協力してもらう場面が出てくるかもしれません。そうした事態に備え、中学生に対し防災に関する講演や資機材取扱訓練等を通じて、これまで以上に防災教育、啓発を行います。

毎年「2校ずつ」、メイン会場を選定します。

(理由)

宗像市立中学校に通う全ての中学生に、訓練を通じて防災に対する関心、意識を高めてもらいたいと考えています。毎年2校ずつメイン会場を選定して訓練を行うことで、3年間で6校の市立中学校で訓練を実施することができるため、市立中学校に通う全ての生徒が在学中にメイン会場としての例年よりも大規模な訓練に参加することができます。

なお、大島学園については、在学する9年間の中で1度は地震や津波、風水害などのテーマを決めた訓練を別途実施したいと考えています。

(実施イメージ)

年度	学校①	学校②
令和8年度	河東中学校	日の里中学校
令和9年度	〇〇中学校	〇〇中学校
令和10年度	〇〇中学校	〇〇中学校